

金沢和子

かなざわ

かずこ

船橋市議会議員



一緒に、変えよう！

あなたらしく自由に生きる、そのために。

日本の当たり前は世界の非常識、ということ、たくさんあります。当たり前だから仕方がない、とあきらめないで、いやなこと、辛いこと、一緒に変えませんか？

Profile

1969年生まれ、駒澤大学仏教学部仏教学科卒。1997年に市議会議員補欠選挙で初当選。現在は、船橋市議団で会派代表、市民環境経済委員、消防委員。千葉県宗教者平和委員会、千葉県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会などで活動中。趣味はカラオケ、推し活。夏見在住。



日本共産党

松崎さち

まつざき

党県政対策委員長・船橋市議会議員



住めるくらさる 千葉県に

船橋市から県政に挑戦！丸山県議からボタンタッチ

私は就職氷河期世代です。2002年に短大卒業後、非正規雇用で働きました。貧困問題に興味を持ち、2010年にやりがいある仕事を求め、政治活動の道に歩みをすすめました。資本論を書いたマルクスは「時間は人間の発達場」と言いました。低賃金や長時間労働、福祉の削減など、お金も時間も人々から1%の権力者が吸い上げる社会を、みなさんと一緒に変えたいと思います。全力でがんばります。

Profile

1978年、新潟県生まれ。公立女子短期大学卒。民間保険代理店のコールセンター、党千葉県西部地区委員会に勤務。2015年、船橋市議会議員に初当選、現在3期目、文教委員長。船橋生活と健康を守る会事務局長。家族：猫2匹



日本共産党



2026年
号外

日本共産党船橋市委員会発行 船橋市二和東6-41-20
TEL 047(440)5240 fax 047(449)7004

日本共産党船橋市委員会の見解を紹介します。

一人ひとりの声から、市政を変える

- 生活相談の一つひとつには、みなさんの切実な「声」があります。
私は、生活相談活動を大切にしています。生活相談は、年間約700件になります。毎月第3土曜日は、金沢事務所での相談会も開催してきました。
- 特別な支援を必要とする子どもたちや保護者の声を市政に届け、支援員の充実など、特別支援教育の改善に取り組んできました。私のライフワークです。
- 市立医療センターの海老川上流地区への移転は中止します。水害や液状化対策が必要な地域への移転は、災害時の拠点病院としても問題です。病床数を大幅に減らしても、建設費高騰で事業費は約650億円と当初案571億円を上回り、さらなる増額は市民負担やサービス低下につながります。当面は建て替えを凍結し、3次救急を維持するため、現在地で手術室など緊急に必要な整備と老朽部分の改修をすすめます。

皆さんの声を市政に届け、そして市政が変わる——。

私は、この瞬間に何度も立ち会いながら、30年間歩んできました。これからも、皆さんと一緒に歩み続けます。



このほか、カーブミラーの設置、歩道の整備、道路冠水の改善などに取り組んできました。

生活相談
担当地域

夏見、夏見台、夏見町、米ヶ崎町、金杉、金杉台、金杉町、緑台、高根町、南三咲1～3丁目（いづみハイツ除く）、三咲1丁目、二和東1～2丁目、行田、行田町、前貝塚町、芝山、西習志野、新高根、高根台7丁目、前原西8丁目、飯山満町、二宮、滝台町、滝台2丁目

夏見地域

県道夏見小室線の二軒家バス停から船橋駅北口方面へ、歩道・自転車通行レーンの整備を求めています。



二宮地域

飯山満町3-1518付近の「自動式信号機」への変更に向け、歩道の確保を求めています。



行田地域

行田2丁目・西船2丁目境の交差点周辺で道路補修を要望。県道は年度内に補修、市道も来年度予算で補修の見通しです。



8月13日に発生した千葉豪雨災害で、床上浸水した地域を調査。訪問した家の方から、流入してきた水の勢いでシャッターが損傷したという説明を受けました。災害対策に全力でとりくみます。

